

第4学年 国語科学習指導案 【公開授業Ⅱ】

児童 4年1組 男15名 女14名 計29名
指導者 谷口美穂

1 単元名 材料の選び方を考えよう

2 教材名 「アップとルーズで伝える」 (光村図書「国語4年下 はばたき」
「四年三組から発信しますー選んで伝える」)

3 単元について

(1) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」領域における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」ことである。これを受けて、本単元では、「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」が学習内容の中心となる。

本教材の「アップとルーズで伝える」は、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。児童にも身近に感じられる内容であり、実際に確かめることも容易である。またアップとルーズについて対比的に分かりやすく述べられており、中心語句や中心文を見つけ、要点をまとめたり、段落構成をとらえたりするのに適した教材である。

(2) 児童について

4年生になって、これまでに児童は、『かむ』ことの力」で段落の中心となる語や文をとらえて要点をまとめたり、段落相互の関係を理解したりする学習をしてきた。

レディネステストの結果では、問いの文を見つける問題では、半数以上が完全解答し、問いの文を含む2文又は問いの文の途中から選んだ解答を含めるとほとんどの児童が「でしょうか。」という語尾に着目して問いの文を見つけることができていた。また、問いかけの文に対する答えを見つける問題では、多くの児童が正しく解答しており、接続語や大切な言葉に着目して、中心となる文を見つけることができるようになってきている。しかし、段落構成を問われると正答率は低くなり、大きなまとまりで文章を読み、大事なことを端的にまとめる力はまだ身に付いていないと言えない。

普通の国語の学習においては、音読に意欲的に取り組む姿が見られるが、自分の意見に理由をつけて発言するとなると消極的になりがちである。これは、自分の意見の根拠となる既習の学習内容の理解が十分定着していないためと考えられる。

これらのことから、スキルタイムでは、段落の構成や関係、指示語、接続語、文末表現、中心語句・中心文等についての学習を行った。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、「壁新聞を作る」ことをゴールとし、自分の伝えたいことを伝えるためにはどんなことが大切なのかという視点で文章を読ませていく。「アップとルーズ」という撮影の技法を通して、伝えたいことがよりよく伝わる方法や観点、選材の大切さ等を確かに読み取らせたい。そのために、中心語句や中心文、指示語、接続語にサイドラインを引く活動を行い、対比やまとめなど文章構成や段落相互の関係にも着目させながら文章構成図に書き表していく。壁新聞作りに備えた目的をもった活動として意識させながら、子どもたちが主体的に楽しく読み取っていくことができるように支援していきたい。

4 単元の目標

- 〈関心・意欲・態度〉
- ・写真と文章を対応させて読み取ろうとしている。
 - ・知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手が分かりやすい記事を書こうとしている。
- 〈書くこと〉
- ・取材したことを相手に応じて分かりやすく書くことができる。(ア)
 - ・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。(イ)
- 〈読むこと〉
- ・段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読み取ることができる。(イ)
 - ・アップとルーズの働きについて、写真と対応させながらそれぞれの特徴や使い分けの理由について正しく読み取ることができる。(オ)
- 〈言語事項〉
- ・文章全体における段落の役割を理解することができる。(オー (イ))

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
① 写真と文章を対応させて読み取ろうとする。	① 取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。	①段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読み取っている。	① 文章全体における段落の役割を理解している。
②知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手が分かりやすい記事を書こうとする。	②相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。	②アップとルーズの働きについて、写真と対応させながらそれぞれの特徴や使い分けの理由について正しく読み取っている。	

6 学習指導計画（全17時間 読7 書10）

過程	段階	時間	学習活動	教師の支援	具体的評価規準 (評価方法)
追 究 の	第 一 次	1	○単元の学習内容を知り、学習の見通しをもつ。 ・初発の感想を書く。	・「アップ」と「ルーズ」における驚きや疑問について取り上げ、その目的を詳しく読み取ろうという目標をもつようにする。	関①教材文を通読し、学習に意欲をもっている。（発現・ノート） 読②「アップ」と「ルーズ」に関心をもちながら読み、感想を書いている。（発言・ノート）
		1	○新出漢字の練習、難語句の意味を調べる。	・調べた難語句の意味が本文の内容に適したものか考えさせながらノートにまとめるようにする。	・新出漢字の読み方や語句の意味について理解している。（発言・ノート）
		1	○学習の計画を立てる。 ・形式段落に番号をふる。	・形式段落に番号をふり、大まかな文章構成をつかむようにする。	読①段落と段落のつながりを考えて4つのまとまりに分け、学習の見通しをもっている。（発言・ノート）
過 程	第 二 次 (本時)	1	○提示されている話題について読む。 ・①②③段落を読み、提示されている話題について話し合う。 ○①②段落と③段落の関係をとらえる。	・「初めの場面」「次の場面」に着目させ、「アップ」と「ルーズ」の場面の説明を読み取るようにする。 ・「どんな～でしょう。」に着目させ、問題提示文をおさえるようにする。	読②写真と文章の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の意味を理解している。（発現・ノート）
		1	○「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を読み取る。 ・写真と文章の関係に注意しながら、④⑤段落を読む。 ○④⑤段落と⑥段落における段落の関係をとらえる。	・接続語「しかし」「でも」に着目させ、文章構成をつかむようにする。 ・指示語「このように」を手がかりに、段落相互の関係を理解できるようにする。	読②アップとルーズそれぞれの長所・短所が述べられていることを読み取っている。（発言・ノート）
		1	○⑦⑧段落を読み、筆者の伝えたいことをとらえる。	・「新聞」に着目させ、話題が「テレビ」から「新聞」の「アップ」と「ルーズ」に移っていることに気付くようにする。 ・⑥⑦段落の末尾一文「～しています。」に着目させ、⑧段落の意味をおさえるようにする。	読①アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。（発言・ノート）

		1	○段落の役割をとらえて文章全体の構成をつかみ、図にまとめる。	・これまでに学習した内容の掲示をもとに、各段落が文章全体の中で果たしている役割を考えながら、図にまとめるようにする。	言①文章全体における段落の役割を理解している。 (発言・ノート) 読①段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読み取っている。 (発言・ノート)
発 展 の 過 程	第 三 次	1	○「四年三組から発信します」を読み、これからの学習の見通しをもつ。	・教材文を参考にして、学校内や地域にあるものを詳しく知らせるための文章を書き、相手を決めて発信することを理解できるようにする。	関②教材文から読み取ったことをもとに、知らせたいことを発信するために必要な材料を意欲的に集めようとしている。 (作業の様子) 書②知らせたいことと相手を決め、どんな形で発信するのかを考えている。 (作業の様子・ノート)
		1	○取材の仕方・まとめ方を知る。 ・教科書作例の工夫に気付く。	・メモと完成した作品の違いや写真の意図と効果について気付くようにする。	
		1	○取材することを決め、自分たちのまとめ方のイメージをもつ。	・普段見慣れている物の中から知らせたいことと、知らせたい相手を決め、どのような形で発信するのかを決めることができるようにする。	
		1	○取り上げる題材を決め、取材する。	・教材文の取組を参考にして、自分たちの知らせたいことに関係のある材料をできるだけ多く集めることができるようにする。	
		2	○材料を選び、記事を書いたり割り付けをしたりする。	・目的や相手に合わせて知らせることができるように、「選んで伝える」を参考にして材料を整理できるようにする。	書①取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。 (作業の様子・内容) 言①文章全体における段落の役割を理解している。 (ノート)
		2	○清書し、仕上げる。	・文章を読み合うことで、相手に応じた言葉や表現、内容になっているかを考えることができるようにする。	書②相手や意図に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。 (作業の様子・ノート)

第四次	1	○学習活動全体をふりかえる。	・学習全体を振り返り、相手や意図に応じた情報の選択について、自分の考えをもつことができるようにする。	関①教材文で述べられていることを視点として、自分の活動を振り返っている。 (評価カード) 書①分かりやすい文章にまとまっているかどうかを考え、感想を感想カードに書いている。 (評価カード・発言)
-----	---	----------------	--	--

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○アップとルーズそれぞれのちがいを読み取ることができる。

(2) 研究主題にかかわって、語句に着目した指導の工夫

○接続語や指示語に着目させながら、アップとルーズの長所と短所を読み取ることができるようにする。

○写真の様子と文章の内容を対応させながら、アップとルーズについて読み取ることができるようにする。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
つかむ5分	1 前時の学習を想起する。	・教科書の写真とその写真を説明する文を用いて、前時までの想起を行う。
	2 本時の学習課題を確認する。 アップとルーズのちがいを読み取ろう。	
	3 課題解決のための見通しをもつ。 ・前時に学習したこと関連させて、アップとルーズのちがいを読み取ることを確認する。	・接続語「しかし」「でも」、指示語「このように」に着目させる。
	4 学習場面を音読する。 ・本時にかかわる範囲を音読する。	・写真と文章の関係を考えながら④⑤⑥段落を読む。

追 究 す る 35 分	<p>5 課題に迫るための読み取りをする。</p> <p>(1) ④段落のアップにすると「分かること」と「分からないこと」を読み取る。</p> <p>(2) ⑤段落のルーズにすると「分かること」と「分からないこと」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力解決をする。 <p>(3) ⑥段落を読み取り、④⑤段落と⑥段落の関係をとらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップの「分かること」と「分からないこと」にサイドラインを引くようにさせる。 ・「しかし」の役割と文章構成を理解させる。 ・④段落の読み取りと同じ方法で自力解決させる。 ・「でも」の役割をとらえさせ、④段落が⑤段落と同じ構成になっていることに気付かせる。 ・「このように」に着目させる。 ・段落の役割、文章構成についてふれる。 												
	<p>具体的評価規準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 30%;">A：十分満足</th> <th style="width: 30%;">B：概ね満足</th> <th style="width: 25%;">努力を要する児童への支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">読む能力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて、「伝えられること」と「伝えられないこと」を自分の言葉で適切にまとめることができる。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて、「伝えられること」と「伝えられないこと」をまとめることができる。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズという言葉や接続語・指示語を確かめながら、長所と短所が分かる文を読み取るように支援をする。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子により観察する。 ・教科書・ノートの記事内容により確認する。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援	読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて、「伝えられること」と「伝えられないこと」を自分の言葉で適切にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて、「伝えられること」と「伝えられないこと」をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズという言葉や接続語・指示語を確かめながら、長所と短所が分かる文を読み取るように支援をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子により観察する。 ・教科書・ノートの記事内容により確認する。 	
	A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援											
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて、「伝えられること」と「伝えられないこと」を自分の言葉で適切にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて、「伝えられること」と「伝えられないこと」をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズという言葉や接続語・指示語を確かめながら、長所と短所が分かる文を読み取るように支援をする。 											
	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子により観察する。 ・教科書・ノートの記事内容により確認する。 													
	<p>(4) 読み取ったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの写真と対応させながら確かめる。 ・アップとルーズをまとめた表から違いに気付かせ、読みを深めるようにする。 												
ま と め る 5 分	<p>6 まとめの音読をする。</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことを振り返りながら音読する。 ・学習の仕方や読み取ったことについてふり返らせる。 												

(4) 板書計画

<p>それで、</p>	<p>このように</p>	<p>ルーズの写真</p>	<p>アップの写真</p>	<p>課題 アップとルーズで伝える アップとルーズのちがいを読み取ろう。</p>	
		<p>ルーズ</p>	<p>アップ</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・広いはんいの様子が分かる。 ・選手とおうえんした人たちが一体となって勝利を喜び合っている様子 ・立ち上がっている観客 ・手を挙げる選手たち 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい部分の様子がよく分かる。 ・ゴールを決めた選手が、全身で喜びを表しながら走る様子 ・両手・口・喜び 		<p>伝えられること</p>
<p>目的においてアップとルーズを使い分ける。</p>	<p>アップとルーズには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがある。</p>				
		<p>でも、</p>		<p>接続語</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ・細かい部分の様子が分からない。 ・各選手の顔つき、視線、気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの選手 ・おうえん席の様子 	<p>伝えられないこと</p>	

教材分析表

単元名 二 材料の選り手を考えてよう

教科名 「アツアツとルールで伝える」 (丸内圖書「国語4年下 ははたご」)

関心・意欲・態度・写真と文章を対応して読み取ろうとしている。

(書くこと) ・知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手が分かりやすい記事を書こうとしている。

(読むこと) ・取捨選択したことを相手に伝えて分かりやすく書くことができる。(ア)

(調べること) ・取捨選択の目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。(イ)

(話しすること) ・取捨選択の理由を伝え、取捨選択を考えた文章を正しく読み取ることができる。

(言語事項) ・アツアツとルールの働きについて、写真と対応させながら、それぞれの特徴や使い分けの理由について正しく読み取ることができる。

文章全体における取捨選択の役割を明確にすることができる。(ア) (イ)

文章構成図	III	II 説明	I 問題提示	意味取捨	要旨
	<p>アツアツとルールで伝えるか</p> <p>⑦</p> <p>写真にも、アツアツとどなたの、ルールでどなたのがあります。</p> <p>新聞を見ると</p> <p>そして、</p> <p>目的にいちばん合うものを選んで使うようにしています。</p>	<p>④</p> <p>アツアツとどくと、細かい部分の様子がよく分かります。</p> <p>しかし、</p> <p>走っている選手以外の、うっすらと見えない多くの部分のことは、アツアツでは分かりません。</p> <p>⑤</p> <p>ルールでとると、広いはんいの様子がよく分かります。</p> <p>でも、</p> <p>各選手の顔つきや視線、それから感じられる気持ちなどは、なかなか分かりません。</p>	<p>①</p> <p>テレビではカメラの試合を放送しています。今はハイタイム、もう少し後半がく。</p> <p>画面には会場全体がうつし出されています。</p> <p>選手たちはコート全体に広がり、体を動かす。観客席は、ほぼ満員。会場全体が、静かにこうふんをおさえて、開始待機。</p> <p>②</p> <p>画面は、コート中央に立つ選手を大きくうつしだししました。</p> <p>ボイストと同時にボールをける選手。目はボールを見、小きながらうしろを振りかへる。</p>	<p>着目させたい語句</p> <p>・画面 ・(録音書写真)</p> <p>・画面 ・(録音書写真)</p> <p>・画面 ・(録音書写真)</p> <p>・アツアツとどくと、よく分かります。</p> <p>・しかし、 ・分かりません</p> <p>・ルールでとると、よく分かります。</p> <p>・でも、 ・分かりません</p> <p>・このように、 ・それで、</p> <p>・写真 ・アツアツ ・ルール ・新聞</p> <p>・そして、</p> <p>・テレビ ・新聞 ・アツアツ ・ルール</p> <p>・このためです。</p>	<p>テレビでも新聞でも、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アツアツとどるかルールでとどるかを決めたり、どつたものを選んでたりしています。</p> <p>・画面には会場全体がうつし出されています。</p> <p>・画面は、コート中央に立つ選手を大きくうつし出ししました。</p> <p>・初めの画面のように、広いはんいをうつすより方を「ルール」といいます。次の画面のように、ある部分を大きくうつすより方を「アツアツ」といいます。</p> <p>アツアツとルールでは、どんなちがひがあるのでしょうか。</p> <p>・アツアツとどくと、ゴールをきめた選手が両手を広げ走りまわっています。ユニフォームは風をはらみ、口を大きく開けて、全身で喜びを表現しながら走る選手の姿がよく伝わります。</p> <p>アツアツとどくと、細かい部分の様子がよく分かります。</p> <p>走っている選手以外の、うっすらと見えない多くの部分のことは、アツアツでは分かりません。</p> <p>試合終了直後のシーンを見てみましょう。</p> <p>ルールでとると、広いはんいの様子がよく分かります。</p> <p>でも、各選手の顔つきや視線、それから感じられる気持ちなどは、なかなか分かりません。</p> <p>このように、アツアツとルールには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがあります。</p> <p>目的に応じてアツアツとルールを切りかへながら放送をしています。</p> <p>写真にも、アツアツとどなたの、ルールでどなたのがあります。</p> <p>新聞を見ると</p> <p>そして、目的にいちばん合うものを選んで使うようにしています。</p> <p>テレビでも新聞でも、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アツアツとどるかルールでとどるかを決めたり、どつたものを選んでたりしています。</p>